

# 日頃の備えと早めの避難を

6月は「土砂災害防止月間」

例年梅雨時期には、全国各地で土砂

災害が頻発し、時には尊い人命が奪われていきます。いつ、どこで起こるか分からない土砂災害から身を守るもつとも確実な方法は「逃げる」です。

自分が住んでいる場所にどんな危険があるか、どこを通って、どこに避難するか、どのタイミングで避難するか、家族との連絡をどうやってとるかなど、梅雨入りのこの時期に是非これらのことを確認していただき、家族や地域の皆さんと一緒に考え、土砂災害による被害を防ぎましょう。

## 災害リスクを確認

あらかじめ土砂災害ハザードマップ等を確認し、自宅等付近の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を確認してください。(土砂災害ハザードマップは作成時に全戸配布しています)

大雨時の河川の災害リスクについては、洪水ハザードマップを確認してください。(6月の文書配布で町内14河川の洪水ハザードマップを関係地区に配布しています)

※各ハザードマップは町ホームページからも確認できます。



町ホームページ

## 雨の降り方に注意!

土砂災害発生危険性が高まったときは、土砂災害警戒情報が発表されまます。この情報が発表された場合は、町から避難指示が発令されます。付近の状況などに注意して避難行動をとり、安全を確保してください。(土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に自宅等がある場合は、立退き避難をしてください。また、区域内ではなくても、自宅と区域が近い場合や異変を感じた場合は立退き避難を心がけてください。)土砂災害警戒情報が発表されていなくても、土砂災害が発生する危険があります。異変を感じたら、ただちに安全なところへ避難してください。

## 避難行動について

避難とは、難を避け安全を確保することです。次に挙げる行動があります。

- 町が開設する避難所への避難
- 安全な親戚・知人宅への避難
- 安全な建物(強固な建物)への避難
- ※自宅が安全な場合は、自宅に留まることも避難行動の一つです。
- ※避難する時間がない場合は、2階や崖から離れた部屋など少しでも安全な場所に避難してください。

## 気象情報・避難情報の確認

気象台が発表する注意報・警報など気象情報には十分注意し、災害に備えましょう。また、大雨警報・土砂災害警戒情報の発表時で、さらに災害の発生リスクが高まった場合は、町防災行政無線や防災メール等でお知らせしますので、早めの避難をお願いします。

▼避難情報の確認には「山口県土木防  
災情報システム」を  
ご利用ください。

▼周防大島町防災メール登録方法・  
変更方法

次のメールアドレスに件名・本文を  
入力せずにメールを送信してください。  
(二次元コードからも送信できます)

問い合わせ  
t-suo-oshima@sg-p.jp

総務課 消防防災班  
0820(74)1000



防災情報

## 警戒レベルと避難情報等

5	<p>きんきゆうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> (災害発生または切迫) 命の危険 直ちに安全確保!</p>
～ 警戒レベル4までに必ず避難を! ～	
4	<p>ひなんしじ <b>避難指示</b> (災害のおそれが高い) 危険な場所から全員避難</p>
3	<p>こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> (災害のおそれあり) 危険な場所から高齢者等は避難</p>
2	<p>大雨・土砂災害・高潮注意報 (気象庁発表) 自らの避難行動を確認する</p>
1	<p>早期注意情報 (気象庁発表) 災害への心構えを高める</p>